

仕様書（ICUベッド二式）

別紙1

【機器構成内訳】

品名	数量	単位
ICUベッド	2	式
（構成内容）		
ICUベッド	2	台
エアマットレス	2	枚
手元スイッチ	2	個
IVポール	2	本
酸素ボンベホルダー	2	個
※上記に係る送料・組立・取付費を含むこと		

【調達物品の備えるべき技術的要件】

（性能及び機能に関する要件）
1 ICUベッドは以下の要件を満たすこと。
1-1 タッチパネルからの操作でベッド上の患者の体重を計測でき、体重の計測範囲は、2.0～180.0kg（精度±100g）とする。また、タッチパネルからの操作でベッド上の患者の体重変化量をモニタリングでき、体重のモニタリング範囲は-9.95～9.95kg（精度±50g）とする。
1-2 日本国内の計量法に基づく検定合格品である。
1-3 測定中に布団などの患者以外のものを載せたり降ろしたりしても、測定値に影響がでないよう補正機能を有する。また、変化量値は予め任意で設定した値を超えるとアラーム音を発生する。
1-4 背上げ・膝上げ・足先さげ、ハイロー・トレンデレンバーク（以下TRと略す）およびリバーストレンデレンバーク（以下RTRと略す）、ボード位置の調整が単独で操作できる。また、背上げと膝上げは連動して操作できる。それらはタッチパネル操作により作動する。各動作は、電動アクチュエータで作動する。
1-5 ボタン操作だけで背と足を連動させ、圧迫感やズレを軽減しながら下肢をしっかりと下げたシッティングポジションがとれる機能を搭載している。
1-6 床からボトム上面までの最低床高は30cm以下とする。
1-7 1ボタンの操作でベッド上での座位姿勢をとるためのポジションに動作させることができる。また、同様に1ボタンの操作で端座位をとりやすいポジションに動作させることができる。
1-8 ベッドの4隅にオプション取付穴を8ヶ所備える。（頭側4ヶ所、足側4ヶ所）
1-9 ボトムは背・腰・膝・足の4分割構造で、主材料は鋼板および鋼管とする。
1-10 足ボトムはフットボードを取り付ける構造を有する。また、患者の身長に合わせてマットレスを伸縮し、フットボードの位置を調節できるようにするため、その構造体が足ボトム上をスライドする構造を有する。
1-11 トータルロック双輪キャスターとし、車輪径125mmとする。キャスターロックの切り替えペダルにより、4輪同時固定（首振り・回転）、4輪自在、直進（足側の1輪のみ）の切り替えが行える。

1-12	ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪を導電キャスターとする。
1-13	搬送性を高めるため、4輪のうち1輪を直進キャスターとする。
1-14	キャスター作動用連動バーは、ベッド下部の清掃がしやすいよう長手角パイプに内蔵する。
1-15	ヘッドボードはCPRボードとして使用できるよう凹凸が少なく、広い面を有する形状とする。フットボードは、体格に合わせて電動で伸縮が可能であること。
1-16	ギャッチ操作時の患者の圧迫を防ぐため、背と膝の両ボトム間の角度が、常に90°以上の角度を確保できる制御を行う。
1-17	背下げと膝上げ・膝下げの連動はギャッチ動作における体のずれを軽減し、更に所定の位置へ体を戻すために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視（測定）し、制御することであらかじめ設定したパターンにて動作を行うことができる。
1-18	頭側のサイドレールには手元スイッチを格納するための凹部を備える。また、呼吸器などのラインを通すための凹部を設ける。
1-19	主要部材（ボトム天板部を除く）の表面処理は、構造材内側の錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトアイボリーとする。
1-20	頭側にはボトム取付型、足側にはメインフレーム取付型のサイドレールを備える。サイドレールは回転式とし、介護や移乗時の邪魔にならないよう下部に格納できる構造とする。
2	ICUベッド用エアマットレスについては以下の要件を満たすこと。
2-1	ICUベッドと同一メーカーとする。
2-2	体圧分散や座位での身体支持などのため、エアセルの圧力を常に監視（測定）し、患者体重・エアマットレスモード設定及びベッド動作に応じて、エアセルの圧力を速やかに設定値へ自動調整可能な構造を有する。特に、ベッドの背上げ角度情報を取得し、角度に合わせて圧力を自動調整する機能を有する。
2-3	ギャッチ動作における身体のずれ・腹部圧迫を軽減するため、背上げ動作中、背上げ角度に応じてエアセル圧力をあらかじめ設定された制御パターンで調整する機能を有する。
2-4	30秒以内に胸部圧迫による心臓マッサージを行える状態にするため、エアセルの空気を速やかに排出する機能を有する。
2-5	搬送時や停電時など電源喪失時でも体圧分散できるよう、エアセル内に充填された空気を一定期間保持できる構造を有する。
2-6	底面カバーには寝位置表示スナップボタンを有し、これに患者の股関節（大転子）の位置を合わせることで、安全で快適なベッド動作をすることができ、また、マットレスの体圧分散性を十分に発揮させることができる。
2-7	エアセル破損時は、破損した部分だけの交換で修理可能な構造を有する。また、エアセルをスナップボタンでカバーに固定する構造であるため、交換時など、エアセルの着脱を行いやすい構造を有する。エアセルの種類によりスナップボタンの色を変えており、修理時の交換ミスに配慮した構造である。
2-8	エアセルの形状をつりで形成し、マットレス表面側先端部の表面張力を小さくすることで、身体へのあたりを柔らかくし、体圧分散性と寝心地感を高めている。
2-9	体圧分散や座位での身体支持などのため、エアセルの圧力を常に監視（測定）し、患者体重・エアマットレスモード設定及びベッド動作に応じて、エアセルの圧力を速やかに設定値へ自動調整可能な構造を有する。特に、ベッドの背上げ角度情報を取得し、角度に合わせて圧力を自動調整する機能を有する。
3	ICUベッド用リモコンについては以下の要件を満たすこと。

3-1 ICUベッドと同一メーカーであること。
3-2 背、膝、ベッドの高さを個別に調整が操作できること。
4 ICUベッド用IVポールについては以下の要件を満たすこと。
4-1 ICUベッドと同一メーカーであること。
4-2 支柱は内・外柱で構成し、外柱に内柱を差し込みスライド式とし、高さ調節可能とする。スライド時の磨耗による腐蝕防止のため、ステンレススチール製とすること。
5 ICUベッド用酸素ボンベホルダーについては以下の要件を満たすこと。
5-1 ICUベッドと同一メーカーであること。
5-2 500リットル容量の酸素ボンベを縦置に固定できる構造とすること。